

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年 5月 29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	ナラサキスタックス株式会社
所在地	〒053-0042 北海道苫小牧市元中野町2丁目13番24号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 須藤 哲也
担当者連絡先	電話：0144-35-2222
	メール：k.shinohara@narasaki-stax.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.narasaki-stax.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>昭和59年、檜崎総合運輸(株)としてスタートし、北海道を拠点に港湾運送事業や海運代理店を展開、貨物の船揚げから倉庫保管、更にトラックでの配送など顧客のニーズに応えています。平成3年に檜崎産業(株)の運航部門を統合して、ナラサキスタックス株式会社に社名を改め、セメント専用船やケミカル船を有し、全国規模で海上輸送を行っております。また、認定通関業者として、海陸空を通じて通関業務を行っております。</p>
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	安全絶対優先の基本理念のもと、安全で安心な職場環境の整備を図り、労働災害防止活動を積極的に推進する。	・重大労働災害の発生ゼロを継続 ・健康経営優良法人の認定継続
□環境 ✓社会 ✓経済	労働者不足対策として、女性活躍推進法や高齢者の就労促進、更に障害者雇用の促進を図る。	・女性社員比率目標：25%以上（事務職） ・障害者雇用の目標：3%以上
✓環境 □社会 □経済	CO2 排出量の削減として、環境負荷の少ない施設・設備への更新に取り組む。	・計画中の社屋の環境対策（LED化） ・エコな荷役車両への随時入替（目標50%） ・業務用車両のEV・HV・PHEV化（目標15%） ・グリーン経営認証の継続 ・内航船省エネルギー格付けの継続

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	企業行動規範を定め人格、個性、多様性を尊重し国籍、性別、年齢、思想等による差別やハラスメント等の不当な扱いを行わないことを明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記。ハラスメントに関する相談窓口の設置。 ・ヘルプライン(社内・外部含む)の設置に加え、社内研修や周知活動を実施し、ハラスメント撲滅に努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	勤怠管理システムのアラート機能に加え管理職へ毎月労働時間の周知と共に注意喚起を行っている。人事総務部長より有給休暇取得促進の案内を発信し、個別に改善指導を行っている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	差別や人権侵害の禁止を規定したサービス基本原則を制定し、差別や人権侵害など、倫理上の疑問がある場合の国籍を限定しないヘルプライン(外部)を設置。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全衛生品質管理委員会、パトロールを実施(年間12回)、協力会社との合同安全衛生大会を実施(年間2回) ・産業医による月例回診を実施(年間12回) ・船舶運航において、毎年、運輸安全マネジメントに取り組み、安全重点施策を掲げ、実施している。 ・安全性優良事業所(Gマーク)の認定を受けている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックの実施(一回/年)と共に委託先からの結果分析をもとに対策を実施。また、毎月産業医の往診にてメンタルヘルスに係わる個別面談指導を行っている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	女性活躍推進法に基づく行動計画を策定し、外国人・障害者・高齢者の雇用を行い、多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	業務上必要となる国家資格、講習等を会社が補助し積極的に取得を推進している。また、階層別研修を行い人材育成に取り組んでいる。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	顧問社労士、各労働組合と連携のうえ、同一労働同一賃金の原則に則った賃金体系としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康経営優良法人2023の認定取得。産業医・健康保険組合と連携し二次健診受診率向上に取り組み、心身両面にわたる健康づくりを行っている。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・社内稟議等に関しワークフローを使用したシステム化及び情報共有の為に社内通知をWEBシステム化しペーパーレス化を図る。 ・コピー用紙の裏面再利用を推奨しコピー紙の使用量削減に努めている。 ・プラスチックごみの分別回収に努めペットボトルの再利用による社会貢献、環境改善に努めている。									11.6	12.4 12.5		14.1					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・クールビズを実施している。（毎年、5/1～10/31） ・自社倉庫の照明をLED化にする。（現在30%⇒目標80%） ・計画中の本社屋建築に伴い、EV車用の充電施設を3機設置予定。							7.3					13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・計画中の本社屋建築に伴い、業務用車両の減車の推進。（2024年度以降） ・計画中の本社屋建築に伴い、電気自動車への切り替えを徐々に推進。（2024年度以降） ・グリーン経営認証（トラック運送事業）を取得。（2008年以降）							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	環境省の定める”フロン排出抑制法”に沿って、荷役機械などの点検を実施している。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している																		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる																		
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	グリーン経営認証（トラック運送事業）を取得。（2008年以降）			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	ホームページにて環境への取り組みに関する情報を掲載している。										12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	現在、再生エネルギーである太陽光発電利用の可能性について、検討を実施している。							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・再生タイヤの利用促進。（コンテナシャーシー） ・FSC認証を受けたコピー用紙の利用促進。 ・オフィス家具などのリサイクル品の利用促進。										12.2	13	14	15				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
製品・サービス	21 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・毎月、安全衛生品質管理委員会・パトロールを開催し、お預かりした製品の品質管理に努めている。 ・安全性優良事業所（Gマーク）の認定を受け、お客様に安全・安心・信頼のトラック輸送を提供している。			3.9								12.4			15			
	22 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	AEO認定通関業者の認定を取得（2016年5月） 国際貿易におけるコンプライアンス/セキュリティ確保と効率化の双方を実現。									9								
	23 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・苫小牧-横浜間で内航コンテナ輸送を運航しトラック輸送から海上輸送への提案実施。 ・現在計画中的の本社屋は、省エネ、環境にやさしく、二酸化炭素の排出を低減した設備で計画している。 ・内航船2隻が内航船省エネルギー格付けを取得。						6					12		14	15			
	24 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	物流業界で長年の課題となっている結露対策として、北海道産珪藻土を活用し石油を使わない「エコ調湿資材」を開発中（2022年3月コンテナ及び調湿装置で特許取得）									9		11	12					
社会貢献・地域貢献	25 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している																		
	26 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地元自治体が主催する港まつりへの参加。 ・所属する団体が行う交通安全運動への積極的参加。 ・自社アイスホッケー部による子供向けアイスホッケー教室を行っている。														11		17	
	27 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	物流業界で長年の課題となっている結露対策として、北海道産珪藻土を活用し石油を使わない「エコ調湿資材」を開発中（2022年3月コンテナ及び調湿装置で特許取得）									9		11	12					

